資料１-２

令和５年　月　日

EY新日本有限責任監査法人　金融事業部

金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析支援事業 事務局 宛

**令和５年度 金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析支援事業  
応募申請書**

標記について、公募要領の記載内容に同意のうえ、下記のとおり応募します。

記

**基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| （１） 申請者 | |
| 応募企業名 |  |
| 部署名、役職、氏名 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （２） 連絡担当者 （２名までご記入いただけます。役職の指定はございません。） | | |
|  | 担当者① | 担当者② |
| 部署名等 |  |  |
| 役職等 |  |  |
| ふりがな  氏名 |  |  |
|  |  |
| e-mail アドレス |  |  |
| 電話番号 |  |  |
| 住所 | 〒 | 〒 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （３） 支援を受けた後の結果の公開について（希望するものに○） | | |
| 1. 支援後の結果を全て公開してよい |  | ⇒（４）にお進みください。 |
| 1. 一部の数値情報（※１）を除いて結果を全て公開してよい |  | 【非公開となり得る数値情報をご記入ください。】 |
| 1. その他非公開情報があればその詳細 | 【公開できない情報についてご記入ください。】 | |

※１：過年度事業では、TCFD炭素関連セクター別の融資額の値、炭素強度、ファイナンスドエミッションの値等について、参加機関と相談のうえで公表資料から一部除いております。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （４） 本事業への参加に必要な情報（※２）について（該当するものに○） | | |
| 1. 投融資先のGHG排出量（Scope 1, 2、収集している場合にはScope 3） | 提供可能 | 提供不可能 |
| 1. 投融資先の業種分類、売上高 | 提供可能 | 提供不可能 |
| 1. 投融資先の業種別排出係数（任意） | 提供可能 | 提供不可能 |
| 1. 投融資先に対する非金融支援を実施している場合はその内容（任意） | 提供可能 | 提供不可能 |

※２：資料１-１の「応募条件」参照。全ての投融資先である必要はありませんが、社数、カバー率などの情報がありましたらご記載ください。

|  |
| --- |
| （５） 投融資先に対する非金融支援の内容（該当ある場合は記載） |
| 【非金融支援（例えば、脱炭素化に向けた投融資先へのアンケートを通じた支援やコンサルティングサービスの提供等）の内容について詳細をご記入ください。】 |

**組織情報**

|  |  |
| --- | --- |
| （６） 脱炭素目標の策定状況 | |
| 中長期の脱炭素目標 | 【中長期（2030・2050年）にかけて、自社及び投融資ポートフォリオの脱炭素目標を策定している場合は詳細内容についてご記入ください。】 |

|  |  |
| --- | --- |
| （７） 投融資事業について（※３） | |
| ① アセットクラスの保有割合について  （例：株式、債券、融資、不動産、オルタナティブそれぞれ○割　等） | 【保有割合について詳細をご記入ください。】 |
| ② 投融資先の業種割合について  （例：石油・ガス、石炭、電力、空運・海運・陸運・自動車、金属・鉱業、化学、建設資材、不動産管理・開発、飲料・食品、農業、製紙・林業等それぞれ○割　等） | 【業種割合（全体、上場/非上場の内訳）について詳細をご記入ください。】 |
| ③ 投融資先の地域性について | 【地理的条件等について詳細をご記入ください。】 |

※３：別添で投融資ポートフォリオがわかる資料を提出ください。

**TCFD開示**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （８） TCFDへの賛同状況・開示予定について（該当するものに○） | | | |
| 1. TCFDへの賛同状況について | 賛同  している | 賛同を  予定している | 賛同  していない |
| 1. TCFDの提言を踏まえた開示について | 開示  している | 開示を  予定している | 開示  していない |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （９） ポートフォリオ・カーボン分析の実施状況 | | |
| ① ポートフォリオ・カーボン分析の実施状況について、下記１～６のうち最も近い状況から１つを選択下さい。 | | |
| １. ファイナンスドエミッションの算定経験がない。 | | □ |
| ２. ファイナンスドエミッション算定のうち、トップダウン分析（業界平均等による推計）等によってポートフォリオ上の多排出セクターの絞り込みができている。 | | □ |
| ３. トップダウン分析を基に、エンゲージメント等の具体行動に向けてボトムアップ分析（個社開示情報等による積算）等による多排出セクターに係るデータの精緻化ができている。 | | □ |
| ４. 精緻化されたデータ等を基に、カーボンニュートラルの実現を見据え、地域経済の活性化・投融資先の企業価値向上等を踏まえた移行戦略について、検討を開始している。 | | □ |
| ５. 移行戦略を基に、投融資先ごとのエンゲージメントに向けた自組織フロント部門に対する脱炭素に係る具体取組等の支援に関する組織体制が構築できている。 | | □ |
| ６. 上記等を基にした、対話・エンゲージメントを実施している。 | | □ |
| ② ポートフォリオ・カーボン分析の対象とするアセットクラス・セクター | 【ポートフォリオ・カーボン分析の対象とするアセットクラス・セクターが既に決まっている方はご記入ください。】 | |
| ③ 対話・エンゲージメントに関する状況 | 【対話・エンゲージメントについて検討中の内容または既に実施している取組がございましたらご記入ください。】 | |
| ④ 対話・エンゲージメントに関する重点的取組の状況 | 【重点的に対話・エンゲージメントを検討ないし実施しているセクター・企業（高排出セクター、サプライチェーン上の中核企業等）、及びその具体的内容についてご記入ください。】 | |
| ⑤ ポートフォリオ・カーボン分析の実施の希望理由 | 【ポートフォリオ・カーボン分析の実施を希望する理由をご記入ください。】 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （10） ポートフォリオ・カーボン分析に対する経営層の理解及び実施に向けた社内体制（該当するものに○） | | |
| 1. 経営層の理解 | 経営層が意義を認識しており、  本事業への協力の了承を得ている | 経営層の理解は獲得できていないが、本事業への協力要請は可能 |
| 1. ポートフォリオ・カーボン分析実施にあたる社内体制 | 事務局（経営企画部門）及び関連部署（営業部門、投融資事業部門、経営企画部門等）の参加が可能 | 事務局、左記部門の一部の参加が可能 |
| 【参加可能な部署について詳細をご記入ください】 | |
| 1. 気候関連取組の意思決定プロセス | 明確である | 明確ではない |
| 【具体的な意思決定プロセスについてご記載ください。】 | |

|  |  |
| --- | --- |
| （11） 気候変動関連の取組についての情報開示 | |
| 気候変動に関する取組の開示状況 | 【情報開示媒体とその記載内容についてご記入ください。】 |

**気候変動対策**

|  |  |
| --- | --- |
| （12） サステナブルファイナンスに係る取組の状況 | |
| 1. サステナブルファイナンスに関する目標設定やGHG排出量の削減に向けた取組の内容 | 【取組の詳細内容をご記入ください。】 |
| 1. サステナブルファイナンスに関する取組の内容 | 【関連商品の有無、推進体制、投融資実績等詳細内容をご記入ください。】 |
| 1. 気候変動問題を含めたサステナブルファイナンスに係る取組における課題 | 【取組における課題は何か、ご記入ください。】 |

|  |  |
| --- | --- |
| （13） 自社のScope 1, 2の算定状況 | |
| Scope 1 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください。】 |
| Scope 2 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください。】 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （14） 自社のScope 3の算定状況（※４）（任意） | | |
| カテゴリ | | 現在の排出量と算定範囲 |
| １ | 購入した物品・サービス |  |
| ２ | 資本財 |  |
| ３ | Scope 1・2以外のエネルギー関連活動 |  |
| ４ | 上流の輸送・流通 |  |
| ５ | 廃棄物 |  |
| ６ | 出張 |  |
| ７ | 通勤 |  |
| ８ | 上流のリース資産 |  |
| ９ | 下流の輸送・流通 |  |
| 10 | 販売した製品の加工 |  |
| 11 | 販売した製品の使用 |  |
| 12 | 販売した製品の廃棄 |  |
| 13 | 下流のリース資産 |  |
| 14 | フランチャイズ |  |
| 15 | 投資 |  |
| その他 | |  |

※４：各カテゴリに該当しうる活動を算定している場合は、記入欄にご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| （15） 投融資ポートフォリオ（Scope 3カテゴリ15）のGHG排出量の把握状況 | |
| Scope 1 | 【現在の把握状況をご記入ください。】 |
| Scope 2 | 【現在の把握状況をご記入ください。】 |
| Scope 3 | 【現在の把握状況をご記入ください。】 |

**その他イニシアティブ（任意）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （16） その他イニシアティブの賛同・加盟状況（該当するものに○） | | | |
|  | 賛同・加盟済み | 検討・手続中 | 未定・予定なし |
| 責任銀行原則（PRB） |  |  |  |
| 責任投資原則（PRI） |  |  |  |
| エクエーター（赤道）原則 |  |  |  |
| SBT |  |  |  |
| PCAF |  |  |  |
| Climate Action 100+ |  |  |  |
| NZBA |  |  |  |
| NZAM |  |  |  |
| TNFD |  |  |  |
| その他 | 【その他、追加や補足説明があればご記入ください。】 | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （17） CDPのスコア（2022年度、気候変動） | | | | | |
| 2022年度CDPスコア  （該当しているものに○） | A | B | C | D | F |
| A- | B- | C- | D- | なし |

**支援面談内容（任意）**

|  |  |
| --- | --- |
| （18） 支援面談については、参加機関の現状やニーズを踏まえた内容を検討しておりますが、現時点でご希望の支援内容がございましたら、ご記載ください。（自社の現状を踏まえた上で、具体的にご記載ください。）（※５） | |
| 第１回支援面談 |  |
| 第２回支援面談 |  |
| 第３回支援面談 |  |
| 第４回支援面談 |  |
| 第５回支援面談 |  |

※５：ご記載頂いた内容について、必ずしも支援面談の内容に含められない可能性がある旨、あらかじめご承知おきください。

|  |
| --- |
| （19） 本支援を通じた到達目標 |
| 【本事業への参加で期待される成果についてご記載ください。】 |

|  |
| --- |
| （20） 自然資本に関する取組や情報開示への対応状況 |
| 【自然資本に関する取組や情報開示への検討状況や対応方針についてご記入ください。具体的な内容のほかに、経営層や企画部門等における現時点の関心度合いを記載することでも構いません。】 |

|  |
| --- |
| （21） 別添資料一覧 |
| 【応募申請書本紙に加えて、別添資料がある場合には、資料一覧をご記載ください。】 |

以　上

資料１-２

令和５年　月　日

EY新日本有限責任監査法人　金融事業部

金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析支援事業 事務局 宛

**令和５年度 金融機関向けポートフォリオ・カーボン分析支援事業  
応募申請書  
＜記入例＞**

標記について、公募要領の記載内容に同意のうえ、下記のとおり応募します。

記

**基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| （１） 申請者 | |
| 応募企業名 | 株式会社○○銀行 |
| 部署名、役職、氏名 | 経営企画部  サステナビリティ推進室  室長 ○○　○○ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （２） 連絡担当者 （２名までご記入いただけます。役職の指定はございません。） | | |
|  | 担当者① | 担当者② |
| 部署名等 | サステナビリティ推進室 | サステナビリティ推進室 |
| 役職等 | 上級調査役 | 上級調査役 |
| ふりがな  氏名 |  |  |
| ○○ ○○ | ○○ ○○ |
| e-mail アドレス |  |  |
| 電話番号 |  |  |
| 住所 | 〒 | 〒 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （３） 支援を受けた後の結果の公開について（希望するものに○） | | |
| 1. 支援後の結果を全て公開してよい | ○ | ⇒（４）にお進みください。 |
| 1. 一部の数値情報（※１）を除いて結果を全て公開してよい |  | 【非公開となり得る数値情報をご記入ください。】  ＜例＞  TCFD炭素関連セクター別の融資額 |
| 1. その他非公開情報があればその詳細 | 【公開できない情報についてご記入ください。】  ＜例＞  対話・エンゲージメント先の社名（開示資料非掲載先） | |

※１：過年度事業では、TCFD炭素関連セクター別の融資額の値、炭素強度、ファイナンスドエミッションの値等について、参加機関と相談のうえで公表資料から一部除いております。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （４） 本事業への参加に必要な情報（※２）について（該当するものに○） | | |
| 1. 投融資先のCO2排出量（Scope 1, 2、収集している場合にはScope 3） | 提供可能 （大手約100社） | 提供不可能 |
| 1. 投融資先の業種分類、売上高 | 提供可能 | 提供不可能 |
| 1. 投融資先の業種別排出係数（任意） | 提供可能 | 提供不可能 |
| 1. 投融資先に対する非金融支援を実施している場合はその内容（任意） | 提供可能 | 提供不可能 |

※２：資料１-１の「応募条件」参照。全ての投融資先である必要はありませんが、社数、カバー率などの情報がありましたらご記載ください。

|  |
| --- |
| （５） 投融資先に対する非金融支援の内容（該当ある場合は記載） |
| 【非金融支援（例えば、脱炭素化に向けた投融資先へのアンケートを通じた支援やコンサルティングサービスの提供等）の内容について詳細をご記入ください。】  ＜例＞  自動車関連製造の中小企業向けにアンケートやベンチマークを基にした取組状況の評価とフィードバックを実施。また、希望する企業に対しては、専門人材の派遣やGHG排出量の削減に向けたコンサルティングサービスの提供等を行っている。 |

**組織情報**

|  |  |
| --- | --- |
| （６） 脱炭素目標の策定状況 | |
| 中長期の脱炭素目標 | 【中長期（2030・2050年）にかけて、自社及び投融資ポートフォリオの脱炭素目標を策定している場合は詳細内容についてご記入ください。】 ＜例＞  2050年までに投融資ポートフォリオも含めたネットゼロの達成をコミットし、セクター別の2030年までの排出削減計画について検討を開始している。 |

|  |  |
| --- | --- |
| （７） 投融資事業について（※３） | |
| ① アセットクラスの保有割合について  （例：株式、債券、融資、不動産、オルタナティブそれぞれ○割　等） | 【保有割合について詳細をご記入ください。】  ＜例＞  融資7割、債券2割、株式１割 |
| ② 投融資先の業種割合について  （例：石油・ガス、石炭、電力、空運・海運・陸運・自動車、金属・鉱業、化学、建設資材、不動産管理・開発、飲料・食品、農業、製紙・林業等それぞれ○割　等） | 【業種割合（全体、上場/非上場の内訳）について詳細をご記入ください。】  ＜例＞  種別　　　　　　　　　　全体　　　　　うち上場　　　うち非上場  石油・ガス　　　　　　　１割　　　　　0.7割　　　　　0.3割  電力　　　　　　　　　　 １割　　　　　0.7割　　　　 0.3割  自動車関連製造　　　２割　　　　　0.1割　　　　 1.9割 |
| ③ 投融資先の地域性について | 【地理的条件等について詳細をご記入ください。】  ＜例＞  関東地方7割、東北地方1割、中部地方2割 |

※３：別添で投融資ポートフォリオがわかる資料を提出ください。

**TCFD開示**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （８） TCFDへの賛同状況・開示予定について（該当するものに○） | | | |
| ① TCFDへの賛同状況について | 賛同  している | 賛同を  予定している | 賛同  していない |
| ② TCFDの提言を踏まえた開示について | 開示  している | 開示を  予定している | 開示  していない |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （９） ポートフォリオ・カーボン分析の実施状況 | | |
| ① ポートフォリオ・カーボン分析の実施状況について、下記１～６のうち最も近い状況から１つを選択下さい。 | | |
| １. ファイナンスドエミッションの算定経験がない。 | | □  ✔ |
| ２. ファイナンスドエミッション算定のうち、トップダウン分析（業界平均等による推計）等によってポートフォリオ上の多排出セクターの絞り込みができている。 | | □ |
| ３. トップダウン分析を基に、エンゲージメント等の具体行動に向けてボトムアップ分析（個社開示情報等による積算）等による多排出セクターに係るデータの精緻化ができている。 | | □ |
| ４. 精緻化されたデータ等を基に、カーボンニュートラルの実現を見据え、地域経済の活性化・投融資先の企業価値向上等を踏まえた移行戦略について、検討を開始している。 | | □ |
| ５. 移行戦略を基に、投融資先ごとのエンゲージメントに向けた自組織フロント部門に対する脱炭素に係る具体取組等の支援に関する組織体制が構築できている。 | | □ |
| ６. 上記等を基にした、対話・エンゲージメントを実施している。 | | □ |
| ② ポートフォリオ・カーボン分析の対象とするアセットクラス・セクター | 【ポートフォリオ・カーボン分析の対象とするアセットクラス・セクターが既に決まっている方はご記入ください。】  ＜例＞  アセットクラス：事業性融資（長期・短期資金）  セクター：自動車関連製造 | |
| ③ 対話・エンゲージメントに関する状況 | 【対話・エンゲージメントについて検討中の内容または既に実施している取組がございましたらご記入ください。】  ＜例＞  融資フロント部署が主体となって、「①対象セクター・企業等を決定、②対話・エンゲージメント方針の策定、③対話・エンゲージメントの実施、④進捗確認、今後の取組検討」というPDCAサイクルを実践している。 | |
| ④ 対話・エンゲージメントに関する重点的取組の状況 | 【重点的に対話・エンゲージメントを検討ないし実施しているセクター・企業（高排出セクター、サプライチェーン上の中核企業等）、及びその具体的内容についてご記入ください。】  高排出セクターの中から炭素集約度の高い企業群を特定するとともに、当該企業群の中で、サプライチェーン上、重要な地位を占める企業に対して重点的に対話・エンゲージメントを実施している。 | |
| ⑤ ポートフォリオ・カーボン分析の実施の希望理由 | 【ポートフォリオ・カーボン分析の実施を希望する理由をご記入ください。】  ＜例＞  地域の企業の脱炭素化を進めるにあたり、投融資ポートフォリオのカーボンリスクについて把握し、優先順位をつけて取り組むため。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （10） ポートフォリオ・カーボン分析に対する経営層の理解及び実施に向けた社内体制（該当するものに○） | | |
| 1. 経営層の理解 | 経営層が意義を認識しており、  本事業への協力の了承を得ている | 経営層の理解は獲得できていないが、本事業への協力要請は可能 |
| 1. ポートフォリオ・カーボン分析実施にあたる社内体制 | 事務局（経営企画部門）及び関連部署（営業部門、投融資事業部門、経営企画部門等）の参加が可能 | 事務局、左記部門の一部の参加が可能 |
| 【参加可能な部署について詳細をご記入ください】  ＜例＞  経営企画部が事務局として参加するほか、融資推進部、リスク管理部等が参加予定。 | |
| 1. 気候関連取組の意思決定プロセス | 明確である | 明確ではない |
| 【具体的な意思決定プロセスについてご記載ください。】  ＜例＞  四半期ごとのサステナビリティ委員会にて経営陣も含めて議論して意思決定している。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| （11） 気候変動関連の取組についての情報開示 | |
| 気候変動に関する取組の開示状況 | 【情報開示媒体とその記載内容についてご記入ください。】 ＜例＞   * 統合報告書（20XX年度）   自社及びグループ会社におけるCO2排出量を20XX年比●●億トン削減。   * サステナビリティレポート（20XX年度）   20XX年にサステナブルファイナンス目標を設定し、投融資先の脱炭素化に向けた提案活動を推進している。 |

**気候変動対策**

|  |  |
| --- | --- |
| （12） サステナブルファイナンスに係る取組の状況 | |
| 1. サステナブルファイナンスに関する目標設定やGHG排出量の削減に向けた取組の内容 | 【取組の詳細内容をご記入ください。】  ＜例＞  「2030年までに温室効果ガス排出量を半減する」をグループ共通の目標として掲げており、使用電力を段階的に再エネ電力に切り替える取組を行っている。詳細は、HPの「サステナビリティへの取組」（https://www.\*\*\*\*\*.co.jp/ ）を参照されたい。 |
| 1. サステナブルファイナンスに関する取組の内容 | 【関連商品の有無、推進体制、投融資実績等詳細内容をご記入ください。】  ＜例＞  20XX年からバイオマス発電に投融資を行っている（投融資額はXX万円）。詳細は、HPの「サステナビリティへの取組」（https://www.\*\*\*\*\*.co.jp/ ）を参照されたい。 |
| 1. 気候変動問題を含めたサステナブルファイナンスに係る取組における課題 | 【取組における課題は何か、ご記入ください。】  ＜例＞  融資先企業に中堅・中小企業が多く、GHG排出量把握がハードルとなっている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| （13） 自社のScope 1, 2の算定状況 | |
| Scope 1 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください。】  ＜例＞  ●● t-CO2／年  算定範囲は施設、車両分を含む |
| Scope 2 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください。】  ＜例＞  ●● t-CO2／年  算定範囲は空調分を含む |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （14） 自社のScope 3の算定状況（※４）（任意） | | |
| カテゴリ | | 現在の排出量と算定範囲 |
| １ | 購入した物品・サービス | ●● t-CO2／年  従業員制服、通帳、カードの製造分 |
| ２ | 資本財 | ●● t-CO2／年  使用車両やATM製造分 |
| ３ | Scope 1・2以外のエネルギー関連活動 | ●● t-CO2／年  事業で使用した電気と熱の製造分 |
| ４ | 上流の輸送・流通 | 該当なし |
| ５ | 廃棄物 | 未算定 |
| ６ | 出張 | ●● t-CO2／年  出張時の交通機関の燃料・電力消費分 |
| ７ | 通勤 | ●● t-CO2／年  通勤時の交通機関の燃料・電力消費分 |
| ８ | 上流のリース資産 | 該当なし |
| ９ | 下流の輸送・流通 | 該当なし |
| 10 | 販売した製品の加工 | 該当なし |
| 11 | 販売した製品の使用 | 該当なし |
| 12 | 販売した製品の廃棄 | ●●　t-CO2／年  通帳・カードの廃棄分 |
| 13 | 下流のリース資産 | 該当なし |
| 14 | フランチャイズ | 該当なし |
| 15 | 投資 | （15）に記載のとおり |
| その他 | | ●● t-CO2／年  店外のATM電力使用量を算定済 |

※４：各カテゴリに該当しうる活動を算定している場合は、記入欄にご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| （15） 投融資ポートフォリオ（Scope 3カテゴリ15）のGHG排出量の把握状況 | |
| Scope 1 | 【現在の把握状況をご記入ください。】  ＜例＞  高排出セクターを対象に取組を開始し、電力セクターの開示情報を収集している。 |
| Scope 2 | 【現在の把握状況をご記入ください。】  ＜例＞  高排出セクターを対象に取組を開始し、電力・エネルギーセクターの開示情報を収集している。 |
| Scope 3 | 【現在の把握状況をご記入ください。】  ＜例＞  Scope 3が重要な自動車セクターから取組を開始し、上場先のデータ収集を開始している。 |

**その他イニシアティブ（任意）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （16） その他イニシアティブの賛同・加盟状況（該当するものに○） | | | |
|  | 賛同・加盟済み | 検討・手続中 | 未定・予定なし |
| 責任銀行原則（PRB） |  | ○ |  |
| 責任投資原則（PRI） |  |  | ○ |
| エクエーター（赤道）原則 |  | ○ |  |
| SBT | ○ |  |  |
| PCAF | ○ |  |  |
| Climate Action 100+ | ○ |  |  |
| NZBA |  | ○ |  |
| NZAM |  |  | ○ |
| TNFD |  | ○ |  |
| その他 | 【その他、追加や補足説明があればご記入ください。】 | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （17） CDPのスコア（2022年度、気候変動） | | | | | |
| 2022年度CDPスコア  （該当しているものに○） | A | B | C | D | F |
| A- | B- | C- | D- | なし |

―（18）以降、省略―

以　上